

市民の意思無視したLRT

断固ゆるさず!

『LRT問題連絡会』第2回総会・講演会

『宇都宮市のLRT問題連絡会』第2回総会と講演会が、6日、市内で開かれ、会場いっぱい約120人が参加しました。

同会は、宇都宮市のLRT導入計画や宇都宮市にふさわしい公共交通について考えるとともに、その実現にあたっては、行政に「住民の意思」を反映させることを目的として、2016年5月28日に設立されました。

宇都宮市政史上初の住民投票を求める直接請求署名を三万票以上収集した「民意なきLRTを阻止する会」を発展させて結成され、多くの困難を抱えながらも、前進を続け、市に住民の意思を伝え続けて



ガンバろう!!で出席者一同心ひとつに左2人目から野村・荒川・福田久 各氏

宇都宮民報

—発行—
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
Tel634-8722



きまま
した。

LRT反対 多彩な活動で

設立後の主な活動では平石地区の地権者との協議、国交省運輸審議会公聴会での意見公述、LRT建設計画の問題点を市民に直接訴える市内大行進、国交省要請などが報告されました。

昨年11月20日投票の宇都宮市長選挙においては、同会は、LRT反対候補者への強力な支援活動を行い、その結果LRT推進の現市長に6000票差に迫る大健闘に貢献しました。しかも、複数の報道機関による出口調査で、投票者の過半数以上がLRT反対の市民の意思を確認する結果にもなりました。

民意尊重 買いて

市長選後も、対市公開質問状提出や意見交換会、LRT連絡会報の発行・配布、LRT沿線の地権者アンケートや民意確認のための「シール投票」などを行っています。

総会は、これらの実績を踏まえ、幅広い市民・有権者・関係団体・議員との大同団結を図り、LRT建設計画沿線

住民、及び地権者との連携を強化し、LRT計画の白紙撤回（阻止）への運動を展開していくことを確認し合いました。

総会では、民進党・共産党・社民党・緑の党・新社会党の代表が連帯挨拶。

日本共産党の野村せつ子県議、荒川つねお・福田くみ子両市議も出席しました。

須藤博 共同代表が講演



第2部の講演会では、同連絡会共同代表の須藤博弁護士が「宇都宮市のLRTとネットワーク型コンパクトシティ構想（NCC構想）」と題して、宇都宮市の計画について詳しく分析、LRT建設計画の問題点を浮き彫りにしました。

また、NCC構想について「宇都宮市の将来の課題解決には有効とはいえず、都市機能の集積・LRT事業費の増大など、二大公共事業のオンパレードになり、財政的に立ち行かなくなることが懸念される」と総括しました。

「沿線地権者アンケート」シール投票
82「LRT問題連絡会」記者会見
結果を報告

LRT問題連絡会では総会に先立つ8月2日、「沿線地権者アンケート」や「シール投票」結果等について、記者会見を行いました。

LRT反対 70%超
その傾向3カ月持続

「地権者・沿線住民アンケート」は、同会地権者アンケート調査班が、JR駅東口から下平出地区までのLRTルート沿線の304件のお宅を戸別訪問して行った地権者等の意向調査です。調査班は5班に分かれて地権者アンケート調査用紙を配布し、後日「アンケート回答用紙」を返送していただくよう依頼したものです。

その結果、調査班の予想を上回る52件の回答があり、しかも多くの地権者が「自由意見」を記載し、リアルな生の声を寄せてくれたことに驚いています。

工事着工のお墨付 得ていない

同連絡会では「地権者や沿線住民の切実な声に真摯に向き合えば、宇都宮市のこれまでの『説明会』をもって、工事着工のお墨付を得たことにはならないはず。宇都宮市は地権者等沿線住民のご意向を正しく汲み取ることを強く求めます」とし



同連絡会では、一方でシール投票「賛成? 反対? シールで知るLRT!」活動を行ってきました。

この宇都宮民報5月14日付で初回の状況を報道しましたが、7月16日に第5回目を行いました。その結果、反対の意思を表明した方は70%超となり、その傾向は3カ月持続していることが報告されました。

須藤律子同会共同代表は、「回を重ねれば重ねるほどLRT強行への市民の怒りをひしひしと感じる。民意を無視したLRT事業に未来はあるのか!と市長さんによびかけます!」と語っています。

「疑惑隠し内閣」は「いらぬ」解散・総選挙を!!

宇都宮市委員会が

宮まつり宣伝

日本共産党宇都宮市委員会は、5日宮まつりにぎわう中、青木弘国政対策委員長(栃木1区予定候補)を先頭に、宮の橋の上で宣伝を行いました。



うちかみさん親子の姿を捉えた写真

「まもろう憲法9条」というブルーの横断幕を上げ、訴えをおこなうと、宮まつりに向かう浴衣姿の人々も足を止めてチラシを受け取りました。

青木弘国政対策委員長は「内閣改造が行われたが、安倍政権の森友・加計学園の疑惑も自衛隊の日報問題も疑惑が解明されたわけではなく、『疑惑隠し内閣』とわざわざをえませぬ。一日も早く安倍政権の退陣を」と訴えました。

また、福田くみ子市議もマイクを握り、「日本共産党は、今年で創立95年になります。一貫して守り続けてきた反戦平和の旗を今こそ生かしたい。国連会議での核兵器禁止の条約採択は、歴史的な第一歩です。ヒロシマ・ナガサキそしてフクシマを絶対忘



青木弘国政対策委員長に訴える市議会議員

れることなく頑張りました。」「と訴えました。参加した、後援会のみなさんも次々にマイクを握りました。浴衣姿の、男性はわざわざ足を止めチラシを受け取り、「安倍さんはいくらなんでもやりすぎ。僕は共産主義者ではないけど、共産党に頑張ってもらうしかない」と激励してゆきました。中高生も、若者向けのパンフを受け取り、「頑張ってください」と声をかけていきました。約1時間の行動で、用意したパンフレットはすべて配布することができ共産党への期待の高まりが感じられました。



大きな横断幕でアピール

核廃絶の願い 宇都宮から

平和願う 夏の行動、熱く・・・

広島長崎被爆72年 6.9行動

1945年8月、アメリカ軍が広島(6日)、長崎(9日)に人類史上初めて原子爆弾を投下して72年目の夏がやってきました。宇都宮原水爆禁止協議会では8月6日、定例の6・9行動を東武宇都宮駅北口で行いました。

今月の6・9行動は宮まつりの開日と重なり多くの人が行きかう中、ある主婦は「今朝の平和記念式典見たよ。小学生が立派な態度で平和への誓いを行ったね。それに対して安倍首相の言動は情けない限りだ」と署名に応じていました。

核兵器禁止条約を力に あらたなスタート

松井一実広島市長は「平和宣言」で国連で採択された核兵器禁止条約を評価。日本政府に対して「核兵器禁止条約の締結促進」に取り組みよう求めました。残酷な核兵器の禁止が世界の規範となったことは被爆地の長

日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他みても・・・

午後2～4時

◇日時 9月9日(土)
◇会場 宇都宮市総合コミュニティセンター
◇連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)
土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。
秘密厳守します。弁護士が協力します。

※8月の相談会はお休みします。

年の願いでした。被爆72年の今年の夏は、核なき世界への転機の夏です。宇都宮原水協のメンバーの市民への訴えにもあらたなスタートに力がかもって行きました。



新日本婦人の会宇都宮支部も前日6・9行動に取り組み、熱いヒロシマ・ナガサキの世界大会に連帯しました。